

セメント工業に関する質問主意書

右の質問主意書を国会法第七十四條によつて提出する。

昭和二十四年三月十八日

山内卓郎

参議院議長 松平恒雄殿

セメント工業に關する質問主意書

わが國におけるセメント工業は遠く明治五年内務省土木寮攝綿篤製造所の創立に始まりその原料である石灰石は全國的且つ無限に埋藏されて居る等の好條件に恵まれて逐年飛躍的な發達をとげ昭和十五年においては実に年産六五〇万吨に及んだのであるが爾後下降の一途を辿り今日に至つた。

日本經濟再建のため特に近時輸出産業としてのセメント工業が果すべき役割は極めて重大である反面既存設備の多くは老朽化して殆ど補修も行われて居ない現状であるが政府は左記の諸点に關し如何なる具体策を持つてゐるかその所見を伺いたい。

記

經濟復興五ヶ年計画に基く

- (一) 生産計画(年度別、工場別)
- (二) 生産計画に伴う新增設、補修計画及び之が所要資材の配当計画
- (三) 同、石炭、電力、紙袋等の配当計画
- (四) 部門別推定需要並に之に対する配当計画及び仕向先別輸出計画(年度別)
- (五) 設備資金、運轉資金に關する長期融資に關する方策